

## 1. はじめに

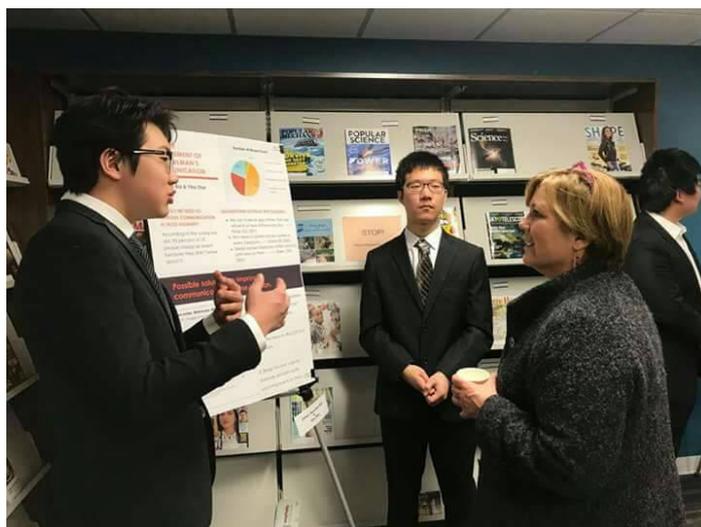
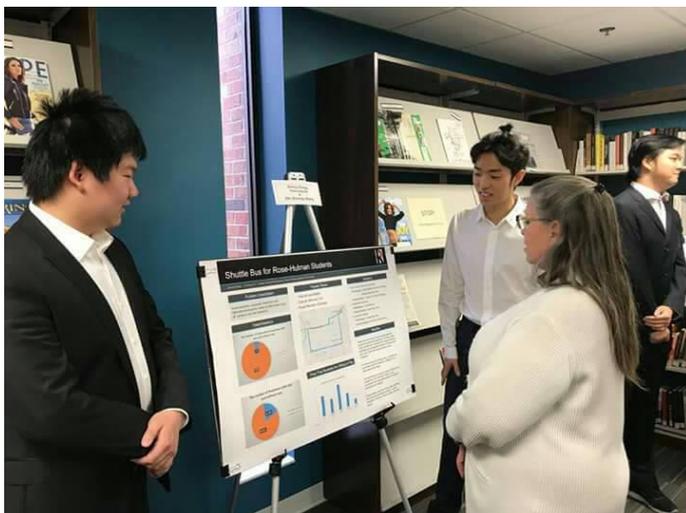
とうとう私の留学生活が今月をもって終了した。あっという間の半年間であったが、その間には日本では絶対に体験できない素晴らしい体験をすることができた。今月の報告書では、留学から得た知見、成果及び反省点を主に報告する。

## 2. 生活

### 2.1. 授業

#### 2.1.1. Listening and Speaking

私を含む交換留学以外の生徒は学期末にポスタープレゼンテーションがあった。内容は、RHITの問題点を見つけ、解決策を導き出すというものである。私は帰国のために、そのプレゼンテーションの本番に参加できなかった。しかし、私がRHITにいる間にプレゼンテーションの練習の授業があった。私はそれに聴衆者として参加した。これまで何度か報告書にて報告してきたが、やはりレベルが高く、素晴らしい発表練習であった。生徒たちは他の授業でも忙しいはずだが、短時間で、アンケートを作成したり、クオリティの高いポスターを作成したりしていた。授業内の練習では、私は発表に対していくつか質問した。本番の様子をFacebookにて発見したので以下に写真を示す。



本番のプレゼンテーションの様子

### 2.1.2. Japanese Society

主にPop Cultureについて学んだ。印象的なトピックはメイド喫茶である。メイド喫茶の様子分かるビデオを見て、クラスのみなどと見て楽しんだ。

### 2.1.3. General Chemistry I

先月受けたテストの結果が返却された。結果は60点であった。手ごたえがあったのもう少し高いと思ったが、先生に質問したりテスト対策したりできることはしたので後悔はない。

## 3. 研究

### 「アメリカの食生活と栄養バランス」

今回の調査の結果、肥満となる要因がいくつか挙げられた。なかでも一番明らかな要因は朝食欠食である。朝食欠食の習慣化は1日の摂取する栄養バランスが極端に減る。それが、食物の消化吸収を促進し、肥満になりやすい体を作ることが考えられる。

## 4. 留学から得た知見、成果及び反省点

### 4.1. 英語能力

毎日の課題をこなすうえで一番身についたと感じる英語能力はReadingである。特に、毎週実験のための予習と復習があり、実験手順を把握するために教科書を読みこんだ。また、Japanese Societyでのディスカッションで、教科書やインターネットの記事などを読んだことも、能力向上に繋がった。

### 4.2. 国際関係

RHITには多くのInternational Studentsがいた。アジアで言うと、中国や韓国、インド、サウジアラビア、ヨーロッパでは、ドイツやスウェーデン、またロシアなど様々な国からRHITに来て勉学に励んでいた。アメリカ人だけではなく、世界のいろんな人たちと交流を持てたことはいい刺激になった。それぞれ国の言語は違うが、英語という世界共通言語を通して彼らと会話できる喜びは大きかった。

### 4.3. 異文化理解

休み期間中、ルームメイトの家にお邪魔させてもらった。その際に、ThanksgivingとChristmasをその家族と一緒に祝った。どちらも日本にはない文化や祝い方であったのでとても印象的であった。英語を学ぶだけでなく、日本にはないアメリカらしい文化を体験することができた。ルームメイトとその家族のおかげである。

### 4.4. 反省点

一番の反省点はPDⅢにおける不十分な計画である。きちんとした計画をしていなかったがために、留学生活終盤で慌てる事態に陥った。アンケートの内容を渡米前に作成しておくことやある程度の方角性を決定しておくべきであった。そうすれば、スムーズに調査も進められたであろうし、より中身の濃い研究ができたはずであった。

## 5. おわりに

今回交換留学プログラムに参加するにあたり、たくさんの方の協力をいただきました。交換留学が成功したのは、ローズハルマン工科大学の関係者、金沢工業大学の先生方、留学支援課の方などたくさんの方のおかげです。また、金銭面や精神面で私のことを応援してくれた両親にも非常に感謝しています。私のために多くの方が携わってくださいました。深く感謝申し上げます。